

平成30年度 おでんくらぶ職員アンケート

2019/2/1

13名配布。6名回答46%の回答率でした。以下、パーセンテージで表示しています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境整備	①	活動のスペースが十分に確保されているか	17	66	17	
	②	毎日の職員配置数は十分であるか	17	50	33	通常は足りていますが時々。
	③	施設の設備・医療備品は支援にあたり十分と思うか	33	50	17	
業務改善	④	業務改善のためミーティングなどで職員同士話す機会は十分か	66	17	17	
	⑤	保護者の意向を把握し業務改善につなげていると思うか	67	33	0	
	⑥	このアンケート結果を事業所のホームページで公表していることは知っているか	83	0	17	
	⑦	職員の資質向上のために積極的に研修の機会を設けていると思うか	83	0	17	
適切な支援の供給	⑧	個別支援計画は子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで作成されていると思うか	100	0	0	
	⑨	活動プログラムの立案を多職種連携で行っていると思うか	67	33	0	活動ミーティングで話合われていると思います。
	⑩	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	50	50	0	
	⑪	休日や長期休暇に応じて、課題を決め支援しているか	50	50	0	
	⑫	子どもの状況に応じて個別支援計画と集団活動を組み合わせて活動を行っているか	83	17	0	
	⑬	毎日の支援前に打ち合わせをしその日の思念愛用や役割分担について話し合いをしているか	83	17	0	
	⑭	支援終了後、後日でも、支援の振り返りをし気づいた点を共有しているか	67	33	0	個々には行っているが全員でおこなうことは難しい。
	⑮	日々の支援に対して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	67	33	0	
⑯	放課後等デイサービスのガイドラインを把握して支援しているか	67	33	0	以前研修を行ってもらっているが全てを把握しているかは疑問がある。	
関係機関・保護者との連携	⑰	学校との情報共有(年間行事予定・下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切におこなっているか	83	17	0	
	⑱	医療的ケアが必要な子どもに対し、主治医と連携体制を整えているか(指示書をもっているか)	67	33	0	
	⑲	就学前に利用していた事業所、卒業後に通う事業所と情報共有しているか	0	67	33	
	⑳	障害のない子供たちやその施設との交流は必要と思うか	17	50	33	必用と思うが感染症や受け入れ先を考えると難しい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と話し伝えあい、発達や課題について共通理解をもっているか	50	50	0	
	㉑	保護者の対応力向上のために【特に未就学児の】保護者支援を行っていると思うか	50	50	0	
保護者への説明	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担額について説明を行っているか	50	50	0	
	㉓	保護者から子育ての悩み等を等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	100	0	0	
	㉔	保護者会などを開催したり保護者同士がコミュニケーションを取る場を作っているか	67	33	0	機会は設けているが参加者が少ない。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応しているか	83	17	0	
	㉖	定期的に会報やホームページ等で活動の様子、情報、自己評価の結果を発信しているか	100	0	0	
	㉗	個人情報に十分注意しているか	83	17	0	
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33	67	0	
	㉙	非常災害時に備え、避難訓練、などおこなっているか	100	0	0	
	㉚	虐待防止のため、研修を実施し適切な対応をしているか	100	0	0	
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束をおこなうかについて、職員が把握し、実際行う時には子どもや保護者に十分説明したうえで個別支援計画にも記載しているか	50	33	17	
	㉜	ヒヤリハットについて記録をとり事業所内で共有しているか	100	0	0	
仕事評価	㉝	重い障害のある子の支援について、やりがいを感じているか	100	0	0	
	㉞	事業所の体制で働きにくいと感じるところがあるか。それはどんなところか意見に記載ください	17	33	50	職員同士コミュニケーションをとる時間がない。

* 環境整備が不十分である、活動プログラムに関してより工夫が必要、など、保護者評価と一致した結果が多かった。また、児童発達支援に対するケア(就学に向けて)についても課題があると感じている。災害時の訓練や、虐待防止研修を実施した結果、全員が対策について理解できたことが良かった。ヒヤリハットについても、昨年度の結果を踏まえ、周知徹底した結果、全体の意識が高まった。今後は、ニーズに見合った支援ができるよう、事業所内外の研修で職員の資質を高める他、課題を認識し対策をしていきたい。